たけうまファンド

設定日	：2011年11月	償還日	：死ぬまで	決算日	：原則、毎月末
収益分配	：ありません	基準価額	：算出対象外	純資産総額	：非公開

※レポートのグラフ、数値等は過去のものであり将来の運用成果等を約束するものではありません。
※レポートでは公開できない数値等が多数存在するため、目盛り等一部の表示を省略させていただいております。

運用実績

※運用開始時の資産を100としたグラフとなっています。
※グラフの歯抜け期間は当ファンド運用担当者のメンタルが死んでいた期間につき運用実績の記録ありません。

＜資産構成比率＞

日本株式	75.9%
海外株式	23.5%
現金（円・$）	0.6%

※比率は対純資産総額比です。

＜純資産総額騰落の要因分析＞

日本株式	11.8%
海外株式	-1.3%
現金（円・$）	-93.1%

※上記の要因分析は当月中の売買を考慮せず（できない）、前月末と当月末の時価総額の差を算出してます。

※上記の要因分析は、実際の純資産総額の変動を正確に説明するものではありません。各市場と当ファンドの運用状況の傾向を知るための参考地としてご覧ください。

＜分配金実績＞

設定来
0円

※永遠のゼロ。成長ないので分配なし。

＜純資産総額の騰落率＞

1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
0.5%	-0.9%	-1.8%	8.2%	6.4%	1534.45%

※証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、今後変わる可能性があります。

たけうまファンド　日本株式／海外株式

＜資産構成比率＞

資産	比率
株式	99.4%
現金	0.6%

＜国・地域別組入比率＞

国・地域名	比率
日本	75.9%
アメリカ	23.5%

＜業種別組入比率＞

業種	比率
資本財・サービス	39.64%
一般消費財・サービス	33.84%
情報技術	9.81%
金融	5.83%

＜組入上位10銘柄＞

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ウルトラファブリックスHD 4235	日本円	日本	一般消費財・サービス	17.66%
2	ServiceNow, Inc. NOW	米ドル	アメリカ	情報技術	9.81%
3	オカダアイヨン 6294	日本円	日本	資本財・サービス	8.21%
4	日揮 1963	日本円	日本	資本財・サービス	8.09%
5	シンメンテHD 6086	日本円	日本	資本財・サービス	8.07%
6	Tapestry, Inc. TPR	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	7.87%
7	シルバーライフ 9262	日本円	日本	一般消費財・サービス	7.16%
8	ディップ 2379	日本円	日本	一般消費財・サービス	6.96%
9	オプテックス 6914	日本円	日本	資本財・サービス	6.37%
10	MSCI Inc. MSCI	米ドル	アメリカ	金融	5.83%

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
1兆円以上	23.65%
5000億～1兆円未満	1.55%
1000億～5000億円未満	20.57%
1,000億円未満	53.90%

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。

運　用　実　績

今月の当ファンドは前月比でほぼ変わらず、指数が堅調に推移する中では非常に情けない結果となりました。

今決算期ははずればかりで先月のシルバーライフをはじめとして、シンメンテ、ディップ、MSCIと今まであった決算は全てネガティブ反応です。銘柄選定が全然ダメ。そこに加えて今年初めてデイトレで大きくやらかしてしまうという。なにやら個人が戦場にしてる新興市場はバブル気味だったようで、温度差を感じてとても辛いです。

唯一よかったのは優待口座ですね。今まで全然無反応だった財務業績絶望死に体系外食が総じてよくあがってくれたおかげで全体のパフォーマンスに若干の貢献がありました。

今月は今年入って一番マーケットを見られていなかったという自覚があります。月末近くなって少し決算を見るようにしていますが、想像と数字が全然違う結果になっているものばかりなので来月の前半までは少し気合い入れて決算見ていかないと夏以降のマーケットにそれこそ全くついていけなくなりそうだなと思っています。本決算と今期ガイダンスがたくさん出てくるわけだし、ここが踏ん張りどころですかね。

現在ほぼフルポジで持っていますが、元から内需だと思っていたのにその前のシクリカル偏重のままきてしまっているのもあって、このままでいいとは思っていないので入れ替えるか現金に戻すかのいいタイミングなのかもしれません。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。